

建設学部 ディプロマポリシー【DP：めざす学生像】

本校建学の目的を踏まえ、以下の能力や資質を身につけ、修得した学生に卒業を認め専門士を授与する。

1. 基礎知識の修得
建設産業の分野に関する基礎知識を身につけている。
2. 専門知識・技術の修得
学科ごとに掲げる専門分野の知識を修得している。
3. 社会性の修得
社会から喜ばれる人柄を備えた人材で他者と協力して目的を達成する人間力を身につけている。

建築設備科のアドミッションポリシー【AP：入学するにあたり】

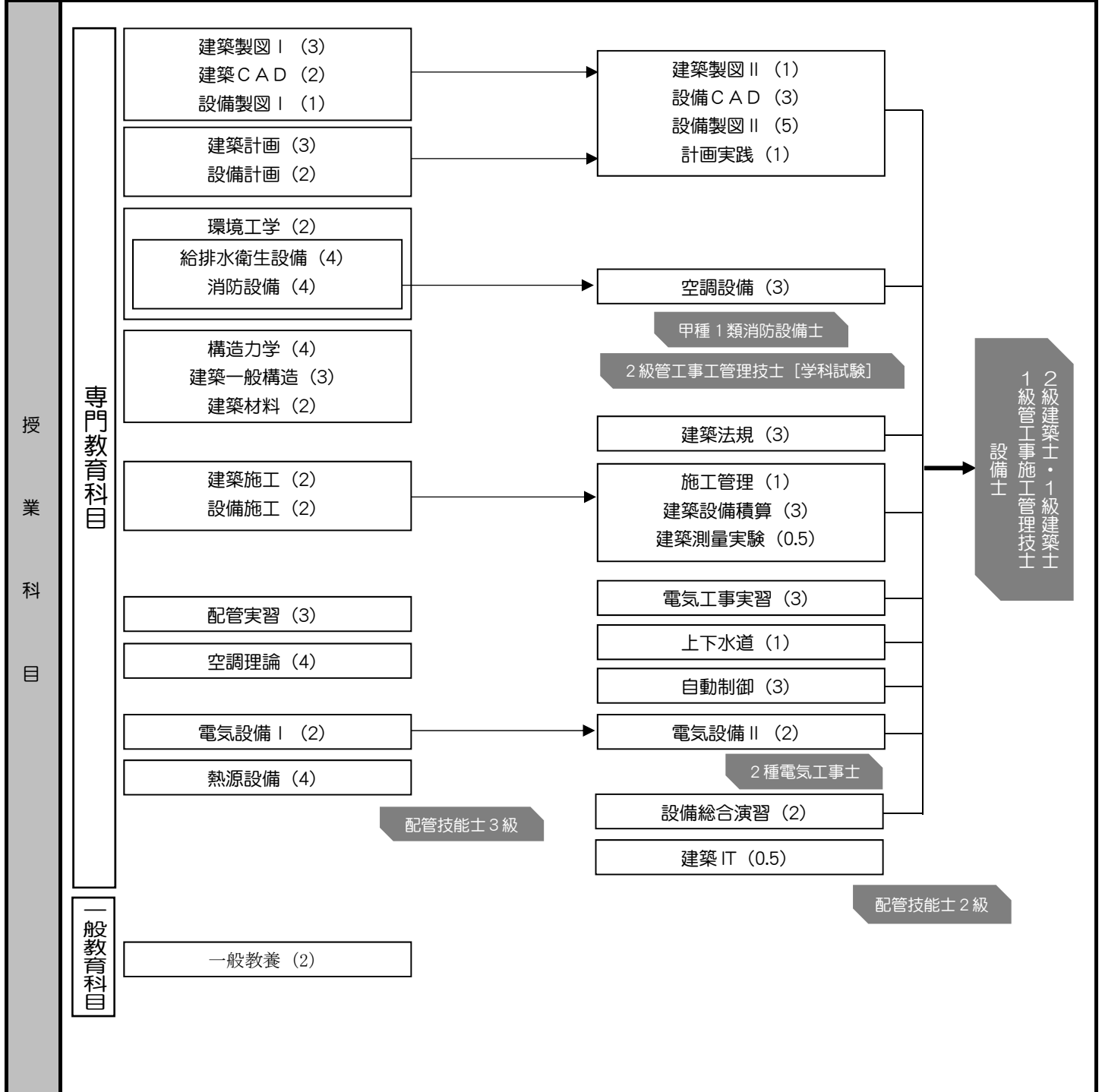
1. 『ものづくり』に対して興味・関心があり、**建築設備業界**への就職を目指して努力すること。
2. 将来、社会や地域の発展のために貢献したいと思っていること。
3. チームワークに必要な協調性があり、他者とのコミュニケーションや関わりを大切にすること。
4. 入学後の修学に必要な基礎学力があること。

建築設備科のディプロマポリシー【DP：めざす学生像】

1. **基礎知識を身につけている。**
2. **建築設備**の専門知識や技術を習得すると共に、それらを活用し社会に貢献できる。
3. **社会人としての人間力を備え**、地域社会において**建築設備設計者・建築設備施工技術者**として活躍できる。

建築設備科（2年制）

最終目標	建築の基本を学び空調・衛生設備を軸に消防設備など関係設備全般の知識を習得します。管工事業に貢献できる技術者となる人材を育成します。また、卒業と同時に『専門士』の称号が付与されます。	
	《 1 年 次 》	《 2 年 次 》
	入学時より建築基本科目及び設備基本科目を中心に建築士受験の短縮認定科目の多くを重点的に学びます。後半に入り設備科目を増やし、建築の基本を活かし建物と設備の関係を理解します。1年次の冬期には国家試験の配管技能士試験合格を目指します。	作図・配管・配線等技術を高め、設備実務能力の向上をはかり、知識を深め習得を目指します。国家試験としては、2種電気工事士・消防設備士・管工事施工管理技士（学科）・2級配管技能士などの合格を目指します。



資格	配管技能士3級 （国家試験 学科1月・技能2月）：配管技能基本レベルの試験。（1年次）
	配管技能士2級 （国家試験 学科1月・技能2月）：配管技能中程度レベルの試験。（2年次）
	2種電気工事士 （国家試験 学科6月・技能7月）：低圧配線工事が可能な試験。（2年次）
	甲種1類消防設備士 （国家試験 6～7月・1～2月）：消防用設備等の工事、整備、点検を行うことが可能な試験。（2年次）
	2級管工事施工管理技士 [学科試験] （国家試験 11月）：実地試験合格後に主任技術者となる試験。（2年次）